

令和2年度 各産地の情勢

(県外)

(株)静岡茶市場

令和2年4月8日時点

農協・地区	情 勢
鹿児島県 (南薩地区)	南薩地区は大きな気象災害も無く、新芽の生育は順調にきています。 早場所では3月29日から被覆作業が開始され、ほぼ昨年並みの状況です。 品種ではユタカミドリとサエミドリの差が無く、今後生育が順調に進めば 4月9日前後に摘採が開始され、4月11日頃より入荷が見込める状況で す。
鹿児島県 (種子島)	初入荷は昨年より2日遅い3月27日(摘採は1日遅い3月24日)に極 早生『松寿』が上場しました。4月1日より連日製造に入り、4月7日現 在よりサエミドリが主になってきました。今年は寒の戻りも無く、生育は 順調ですが、新茶売りに見合わない品質の物は厳しい値になっております。
鹿児島県 (大隅地区)	暖冬で寒の戻りも無く、順調に生育しています。ここ1週間、昼間は気温 が高くなるが夜温が低いせいか、芽伸びが抑えられている為、摘採開始は 早生で4月15～16日、ヤブで4月23日頃と昨年並となる予想。
宮崎県	宮崎県の早生品種は昨年より1～2日早く、ヤブキタは平年並みの生育で す。早生品種の間でも生育差があります。 児湯地区で4月9日、南宮崎で4月15日、串間地区で4月16日頃の摘 採を予定しています。
高知県	生育は昨年より2、3日早く、4月15日頃の摘採を予定しています。 園相も霜の被害も無く良好で、天候次第ですが4月17日頃の入荷となり そうです。

県内の茶業情勢については弊社HP (<https://chaichiba.co.jp>) をご覧ください。

県外についても随時更新中です。